

2003年11月18日

最新のインテル®Itanium®2 プロセッサ搭載「日立アドバンストサーバ HA8500/740」を発売
最大 16way 搭載可能なミッドレンジモデル



日立アドバンストサーバ HA8500/740

日立製作所ユビキタスプラットフォームグループ(グループ長&CEO:百瀬 次生)は、このたび、最新のインテル®Itanium®2 プロセッサを搭載した「日立アドバンストサーバ HA8500/740」を11月20日から販売を開始します。

本製品は、高性能な最新鋭インテル®Itanium®2 プロセッサを最大 16 個搭載可能なミッドレンジモデルであり、実績豊富な HP-UX の最新バージョンである HP-UX11i v2.0 をサポートしています。

近年、電子商取引や SCM、CRM などインターネット技術を活用したシステム化が各方面で広がりを見せています。これらのシステムは、取引量やトランザクションの急激な変化、さらには扱い品目の増加に伴うデータベース容量の大規模化などに素早くかつ柔軟に対応できる性能と容量を持ったサーバが必要とされています。また、システムの運用・管理コストなど TCO の最適化も重要な要素として検討されています。このようなシステムニーズを実現するものとして、従来に増してより高い性能・拡張性を持ち、さらには運用管理の容易さや高い信頼性を持ったサーバへの期待が高まっています。

今回発売する「HA8500/740」は、最大 16 プロセッサや最大 128G バイトメモリー搭載、セルボードの高速インターコネク、パーティショニング機能、ホット・スワップ機能などハイエンドサーバ「HA8500/860」で培った高性能、高信頼、高可用性、運用性の向上といった各種機能・技術、ノウハウを、ラックマウント可能なコンパクトな筐体に凝縮したサーバです。

なお「HA8500 シリーズ」は、ユーザーがリソースをコアビジネスに集中し、高い信頼性とビジネスの変化に即応した最適なシステムを構築できる環境を提供する日立のサービスプラットフォームコンセプト Harmonious Computing に基づいており、その基幹サーバのひとつとして位置付けられるものです。

新製品の価格・出荷時期

モデル	プロセッサ	プロセッサ数	キャッシュ メモリー	メモリー	内蔵 HDD	標準価格(注)	出荷時期
HA8500/740	インテル® Itanium®2 プロセッサ (1.50GHz)	2	6MB/CPU	2GB	36GB	26,130,000 円 ~	04 年 2 月 ~

(注)別途消費税が必要です。

他社商標注記

- ・HP-UX は米国 Hewlett-Packard Company のオペレーティングシステムの名称です。
- ・インテル、Itanium は、米国およびその他の国における Intel Corporation またはその子会社の商標または登録商標です。

製品情報

インターネット：「日立アドバンスサーバ HA8500 シリーズ」アドレス
<http://www.hitachi.co.jp/ha8000/>

取扱事業部・照会先

株式会社 日立製作所 ユビキタスプラットフォームグループ
ソリューション統括本部 マーケティング部【担当：中島】

〒140-0013 東京都品川区南大井六丁目2番3号 大森ベルポートD館
TEL：03-5471-2942（ダイヤルイン）

以上

1. 新製品の特徴

(1) スケーラブルな拡張性を備えた高性能システム

- ・プロセッサは、6M バイトの三次キャッシュメモリーを内蔵し、高性能化を実現したインテル®社の最新鋭 64 ビットプロセッサ Itanium®2 プロセッサ(1.50GHz)を採用しています。
- ・「HA8500/740」は、「HA8500/860」と同様に、セルボードと呼ばれるボード上に 2~4 個のプロセッサと最大 32G バイトのメモリーを搭載でき、システムとしては最大 4 個までセルボードを拡張できます。
- ・各セルボードは、高速のクロスバ・バックプレーンで結合されているためプロセッサ数に応じたスケーラブルな性能向上を実現しています。
- ・内蔵ディスクベイを 4 個、DVD-ROM/DDS DAT 用のベイを 2 個備えているほか、周辺機器接続用インタフェースとして、PCI-X 対応スロットを 16 個備えるなど拡張性にも優れています。

(2) サーバの運用性を高めるパーティショニング機能を採用

- ・「HA8500/740」は、セルボード単位に分割するハードウェアパーティショニング機能により 4 パーティションに分割でき、最大 4 台の論理的なサーバとして業務処理を実行できます。(3 分割以上で利用する場合は Server Expansion Unit が必要です)
- ・各パーティションは、ハードウェアやソフトウェア障害に対する保護がなされており、他のパーティションに影響を与えることなく処理を継続できるため、同一筐体内で「MC/ServiceGuard」*を用いた HA 構成や、HA クラスタ構成の構築も可能です。
* MC/ServiceGuard... H A (High Availability)システムを構築するためのソフトウェア
- ・これら各パーティションでの業務処理を効率的に行うために、プロセッサの動的配分や指定時間内でのジョブ終了などを制御する WLM(Workload Manager)や、システム負荷のピーク時に使用される資源(プロセッサ、メモリー、ディスク・バンド幅)の制御を行う管理ツール PRM(Process Resource Manager)などの機能も提供されます。

(3) 容易な運用管理

- ・「HA8500/740」は、システム接続された 1 台のコンソールで全パーティションを統合制御できます。
- ・サーバ構成情報(パッチやカーネルパラメータなど)を一元管理する SCR(System Configuration Repository)、各サーバのソフトウェアを一元管理する SCM(Service Control Manager)および WLM などシステム管理機能が強化された「HP-UX 11i v2.0」でサポートされます。

(4) 耐障害性、保守性、運用性を向上

- ・プロセッサ・キャッシュおよびプロセッサとメモリーバスを ECC(Error Checking and Correcting)機能で保護しました。さらにメモリーサブシステムでは、メモリーチップにエラーが発生しても継続稼働を実現する最新テクノロジー「メモリーチップスペア機能」を採用し、より一層可用性を高めています。
- ・I/O カードは、システム稼働中の追加・交換にも対応可能です。なお、冷却ファン、電源装置などは N+1 冗長構成を採用し、ホット・スワップを実現しています。これにより耐障害性の向上を図るとともに計画停止時間の短縮が図れるため、システム稼働率の向上が期待できます。

HA8500 / 740 の仕様

モデル名	HA8500/740	
プロセッサ(周波数)	インテル®Itanium®2 プロセッサ(1.50GHz)	
プロセッサ数	2 ~ 最大 16	
キャッシュメモリー容量/CPU	6MB	
メインメモリー容量(最大)	128GB	
PCI スロット数	最大 16(PCI-X)	
標準インタフェース	シリアル x3, 1000Base-T/100Base-TX/10Base-T x 1 (パーティションごとのコア I/O 単位)	
システム装置外形寸法(WxDxH)mm	482x762x755、ラック搭載時：17U	
質量(最大) kg	システム装置：168	
消費電力(最大)	5.4kW	
省エネ法に 基づく表示 ^{*1}	区分	C
	エネルギー消費効率	0.051
電源	AC200V 単相、50/60Hz	
VCCI 基準	クラス A 情報技術装置	
インストール OS	HP-UX11i v2.0	

*1：エネルギー消費効率とは、省エネ法で定める測定方法により測定された消費電力を、省エネ法で定める複合理論性能で除したものです。

- ・記載の容量は、1MB(メガバイト)=1,048,576 バイト、1GB(ギガバイト)=1,073,741,824 バイトの計算値です。
- ・固定ディスクの容量は、1GB=10⁹ バイトです。ユーザーがアクセスできる容量は作業環境により変化します。

このニュースリリースに掲載されている情報は、発表日現在の情報です。
発表日以降に変更される場合もありますので、あらかじめご了承ください。
